

「教科書を使って主体的に学ぶ」ために（小学校用）

<指導のポイント例>

◆QRコードの利用

QRコードの活用について、児童、保護者に周知し、自分で進んで学ぶヒントになることを知らせる。

◆キャラクターのコメントに着目

キャラクターのコメントは、考えていくときのヒントになることを児童に伝える。

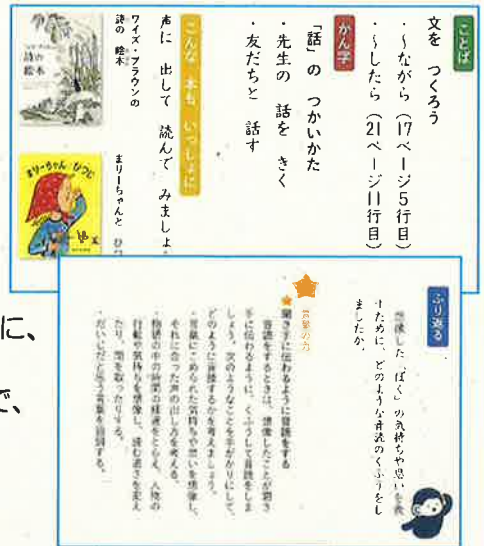
◆ワークシートの作成

必要に応じて、ワークシートを作成し、児童が教科書に沿って学習できるようにする。

<教科書の活用例>

【国語】

- 教材の下部にある「語句」や疑問に思う言葉などについて、国語辞典を活用して意味調べをしてみましょう。
- 新出漢字を練習したり、漢字辞典で意味や活用について調べたりしてみましょう。
- 詩などを視写したり、物語文や意見文などを読んだ感想を書いたりしてみましょう。
- 単元の最初にある「つかむ」や、「てびき」のページを参考に、教材を読んでいきましょう。
- 単元末にある「ふりかえる」をよく読んで活用することで、学習のまとめにつながります。



【社会】

- 単元のはじめにある「まなび方コーナー」や「めあて」、「学習課題」などを参考にすると、学習の方向性がつかめます。
- 「まなび方コーナー」や「学習課題」にある内容を解決するために、教材を読んだり資料を集めて考えたりすることで、単元で求められる力をつけることができます。
- 見開きの最初のページにある「つかむ」「調べる」などを参考にしましょう。「つかむ」「調べる」の内容をノートに書き、その後教材を読んで大切だと思うところやまとめを書き込んでいくと、単元が終わるときには、学習内容を自分なりにまとめたノートが出来上がります。



【算数】

- 教科書表紙のQRコードでは、全学年の教科書のQRコードの内容を見ることができます。
- 単元のはじめに付いているQRコードを活用すると、既習事項を確認することができます。また、教科書に準拠したワークシート集の中に、既習事項の確認ができるものがあれば活用しましょう。
- QRコードが付いている場所では、図や表のかき方などを動画で見ることができます。
- 単元末の問題に付いているQRコードを活用すると、解き方のヒントが分かります。
- 5年の教材の中には、プログラミング教育に関わるシミュレーションを体験することができるQRコードもあります。
- ワークシートを準備しておく、学びの蓄積や評価に役立ちます。



QRコード